

令和5年(2023年)度年間授業計画表									
学年	2	科・系	園芸福祉科	単位	3	教科	農業	科目	生物活用
使用教材	生物活用(実教出版)								
学習目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、園芸作物や社会応物の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。								
単元と内容									
1 学期	生物活用の意義と役割 園芸作物の栽培と利用	生物活用とは何か							
		私たちの暮らしと生物活用							
		私たちの暮らしと園芸							
2 学期	園芸作物の栽培と活用 生物を活用した療法 生物活用の実践	草花の種類と特性							
		花壇の活用と管理							
		植物を治療に活用する							
		園芸療法とは							
		交流活動の大切さ							
3 学期	生物活用の実践	交流活動の実施と流れ							
		交流活動の計画							
		活動のまとめと発表							
		交流活動の振り返り							
評 価									
評価の観点			評価の趣旨						
①	知識・技能		生物活用について体系的系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。						
②	思考・判断・表現		生物活動における諸活動に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を課題を解決する力が身に付いている。						
③	主体的に学習に取り組む態度		生物活用について、生物の特性を活用し生活の質の向上につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的行動的に取り組む態度が見られる。						
評価 方法	①		②			③			年間時数
									予定
	学習状況の観察、記述の点検(ノート、ワークシート等)、定期 考査、小テスト		学習状況の観察(発表等のパフォー マンスの評価)、記述の点検(ノート、 ワークシート等)、定期考査			学習状況の観察、記述の点検 (ノート、ワークシート等)、定期 考査			70時間
									1単位=35H
置賜農業 育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献							